

「富士フィルムヘルスケア株式会社」として新たにスタート

2021年3月31日

富士フィルムヘルスケア株式会社

2021年3月31日付けで、日立製作所(以下、日立)の画像診断関連事業が富士フィルム株式会社(代表取締役社長:助野 健児/以下、富士フィルム)へ事業譲渡されたことをうけ、同日より、富士フィルムヘルスケア株式会社(代表取締役社長:山本 章雄/以下、富士フィルムヘルスケア)として営業を開始します。

経営体制として、富士フィルムの取締役専務執行役員、メディカルシステム事業部長である後藤禎一が同社の会長を兼務し、日立の画像診断関連事業を率いてきた富士フィルムヘルスケアの社長である山本章雄とともに、富士フィルムグループのヘルスケア領域の中核事業としてグローバルに事業を展開していきます。

富士フィルムヘルスケアは、世界に先駆けて開発したさまざまな革新的技術を搭載した超音波診断装置をはじめ、CT、MRIなどの医療機器を中心とした画像診断関連事業をグローバルに展開しています。画像診断関連事業は先進国では高齢化や慢性疾患の増加、新興国では経済成長に伴う医療水準の向上などのニーズがあり安定的な成長が見込まれている一方で、グローバル競争が激化しています。

今回、富士フィルムグループとなることで、富士フィルムが持つ医療ITを中核とした幅広い製品ラインアップとの補完やAIなどのデジタル技術とのシナジー、顧客基盤の融合により、強固な事業基盤の構築、事業規模の拡大を図り、事業成長を加速させ競争力強化を図ります。今後、富士フィルムヘルスケアは、富士フィルムグループの成長を担うメディカルシステム事業を発展させる企業として、革新的な製品・サービスを提供することで、ヘルスケアに新たな価値を創出していきます。

【富士フィルムヘルスケア株式会社の概要】

富士フィルムヘルスケアは、お客さまの潜在的ニーズに応える総合医療機器メーカーとして、画像診断システム(CT、MRI、X線診断装置、超音波診断装置等)や電子カルテ等の研究開発・製造・販売・保守サービスを手掛けています。富士フィルムヘルスケアは、「ヘルスケアに新たな価値を創出し、人々が笑顔で健康に暮らせる社会に貢献します」という企業理念のもと、健診から診断、治療までの幅広い領域で、新たな価値を生み出し、医療の発展と人々の健康の維持増進に貢献します。

(1)商号	富士フィルムヘルスケア株式会社 (英文:FUJIFILM Healthcare Corporation)
(2)本店所在地	千葉県柏市新十路2番地1 (本社:東京都台東区東上野2丁目16番1号 上野イーストタワー)
(3)代表者の役職・氏名	代表取締役会長 後藤 禎一 代表取締役社長 山本 章雄
(4)事業内容	画像診断システム(CT、MRI、X線診断装置、超音波診断装置等)、電子カルテ等の研究開発・製造・販売・保守サービス